

学校を地域密着型の ステーション活動の1つの軸に

「今年松戸ステップの立ち上げにあわせて、学校クラスコンサートも活動の一環としてやっていきたい」と電話をくださったのは、松戸コアラの森ステーション代表の江本純子先生。ステーションメンバーより協力者を募り、教育委員会へ足を運び、内容を練って…と、自分たちならではのクラスコンサートづくりが始まった。

地域やクラスコンサートアーティストとの連携

「松戸の地域に密着した活動をしていきたいと思っていたところ、学校クラスコンサートを行っている佐藤展子さんとお会いする機会に恵まれ、生徒たちの様子や演奏者側のやりがいを伺い、ぜひ自分たちも行いたいと思いました。松戸でのクラスコンサートは初めてでしたので、市議会議員の杉山よしひろ氏のご協力のもと松戸市の教育委員会へ足を運び、ピティナ船橋支部の力強いサポートのもと実現に至りました。」(江本純子先生)

そして、ステーションの大島彩子先生とのピアノデュオで、まずは二人の地元や母校を含む、松戸市立北部小学校(6/12、19)、牧野原小学校(7/17)、新松戸南小学校(10/2)の3校で実施することになった。

「まずプログラムを考える際に、45分の授業で最後ま

で楽しく聴いてもらえるよう、連弾・ソロ・ボディパーカッション・生徒たちとの合唱共演を組み込んでみました。コンサート前には実際に佐藤展子さんのクラスコンサートを見学させていただき、雰囲気を感じ、イメージが具体的になってきました。時間配分、曲や楽器の説明、クイズや言葉を考え、何度も想像や実演をして当日に臨みました。」(江本先生)

1校目、北部小クラスコンサート

12日、初めてのクラスコンサート。音楽室に行くと、椅子を準備してくれている5年生たちが目を輝かせながら「練習を聴いていてもいいですか?」とピアノの周りに集まってきた。今回の対象は4年生なのだが、手伝ってくれた子たちのために、アンコールに用意していたルパン三世の連弾を披露。「うわーっ!かっこいい!」と歓声があがる。5年生の子どもたちによって緊張がほぐれたところで廊下を見ると、4年生が楽譜を胸に、今か今かと並んで待っていた。

最初は「花のワルツ」の連弾。「ワルツってどんな踊りかわかる?」と、足踏みする子を連れ出し「1, 2, 3…」と少しステップを踏んでみる。「こんな感じのリズムにのって、聴いてみてください。」と、ピアノで夢の世界へ。「連弾」をあまり見る機会がないという子どもたちに、「手は両手で弾いていたけど、足のペダルはどっちが踏んでた?」「2人で一緒に弾く時には、息をあわせなきゃいけないし、バランスも大事。みんなが合唱や合奏する時に似ているね。」とお話しました。

▼花のワルツの連弾。
ワルツってこう踊るのよ。





▲ボディパーカッションのデモンストレーション。さあ次は皆の番!

続いてそれぞれがモーツァルトの「トルコ行進曲」とショパンの「幻想即興曲」のソロ演奏。ピアノの周りに集まって演奏を“見る”子どもたち。「今のトルコ

行進曲では、ダン、ダン、ダンダンダン、というリズムが流れていたよね。」と手拍子をさせ、それにのせてモーツァルトのトルコマーチ、ベートーヴェンのトルコマーチ…とツアーしてみせた。

ボディパーカッションでは、ステーションの伊川芳恵先生と杉山真弥先生の協力のもと、4名で手拍子、ひざ打ち、指ならし、口笛、そして「シッ」という息のような声とを織り交ぜて、身体全体でリズムを表すデモンストレーション。今誰からどんな音が出るのか?隣の人にリズムが移った!?など、食い入るように見る。今度は子どもたちが4パートにわかれて手拍子と足踏みでリズムのリレー演奏。他のパートにつられないように、一所懸命リズムをたたいた。

「何より心に残ったのが共演の合唱です。伴奏をしながら、生徒の歌声を聴いていると、涙が流れました。本当に心をこめて歌ってくれたので、合唱の迫力にあらためて感動しました。」と江本先生。アンコールの「ルパン三世」では、リズムによって手拍子で盛り上がった。

1回の授業で終わらない魅力

噂をききつけた5、6年生から「私たちも聴きたい!」とのリクエストがあり、お昼休みに追加公演のプレゼント。12日には5年生、19日には6年生がぞくぞくと音楽室に集まり、2人をぐるっと囲んで連弾2曲を鑑賞、熱烈な拍手。お礼に贈ってくれた合唱も、見学者から思わず「ブラボー!」が出るほど感動的なものだった。

「演奏をして生徒たちと直接音楽で接することができたことが嬉しく、とても幸せな時を過ごせました。受け答えから子どもたちが純粋で素直な様子を改めて感じ、感想文からは好きな曲がそれぞれ違うこともわかりました。一番



松戸市立北部小学校クラスコンサート プログラム

1. チャイコフスキー：花のワルツ（連弾）
2. モーツァルト：トルコ行進曲（ソロ）
3. ショパン：幻想即興曲（ソロ）
4. ボディパーカッション（12日）
5. 児童との共演：ボディパーカッション（12日）
6. フォーレ：スペイン風の踊り（連弾）（19日）
7. 児童との共演：
合唱（君をのせて、未来みつめて、おおぞらさんか）
8. アンコール / ルパン三世（連弾）



主催：PTNA 松戸アオラの森ステーション
ピアノ演奏：江本純子 / 大島彩子
ボディパーカッション共演：伊川芳恵 / 杉山真弥

嬉しかった感想は、「ピアノや音楽は苦手だったけど、楽しいと思った。これから頑張りたい」というものでした。普段ピアノレッスンに通っている生徒は、いつも習っている先生が弾いてくれると、とても喜んでくれました。

このクラスコンサートがきっかけで、北部小や新松戸南小では、学校の開校80周年、30周年の記念式典でのゲスト演奏にも声をかけていただき、新たなつながりもできました。普段生徒を通してしか知らなかった学校の音楽の先生方と、直接交流が持てたのも嬉しいことです。北部小のホームページにも学校クラスコンサートのページが早速作られ、様子がアップされていたのには驚きました。

12月に初回ステップを迎えますが、今後こうした学校クラスコンサートを通して地域の音楽活性化につなげ、ステップに出る生徒やピアノ愛好者が増えていって欲しいと思います。」(江本先生)